



18人で奏でるラストステージ

「かしわまつり」や「メロンまつり」にも出演した早来中学校吹奏楽部が10月14日に第18回定期演奏会を同校体育館で開催しました。

18名の部員はトランペットやホルンなど11種類の楽器を奏でました。3年生の4人の部員にとって最後の演奏会。第1部と2部は制服、第3部はリラックスした服装に着替えての出演で、調和のとれたハーモニーや美しい音色に聴衆から拍手が送られ、全部員によるラストステージとなりました。

10月のできごと



ライオンズクラブからすてきなプレゼント

「サッカーをしている子どもでも使ってください」とライオンズクラブがサッカー少年団早来フェリデーFCに14個のボールを寄贈。その贈呈式が10月17日に早来研修センターで行われました。

クラブを代表して6年生の内藤育朗主将が受け取りお礼を述べました。

これから室内の競技会が来年3月まで開催されます。選手たちはすてきな贈り物に大喜びでした。

華麗にダンスを楽しみました

10月14日追分公民館で第31回チャリティダンスパーティが開催され町内外から150人の愛好家が華麗にダンスを楽しみました。

特別出演のプロA級ダンサーの二宮勇馬・矢嶋伸江組の軽快なステップが参加者を魅了。会場は和やかな雰囲気になっていました。今回の収益金の一部はチャリティとして寄付することになっています。

給食ボランティアに道社会貢献賞
長年町内の高齢者などに食事サービスを行っている「給食ボランティア」が北海道社会貢献賞を受賞し10月24日に早来庁舎を訪れ町長に報告しました。



この団体は、昭和63年に発足。現在は週1回昼食を作り各家庭を回っています。社会福祉協議会と連携し、利用者の様子などの確認にも役立っているそうです。代表の多田栄子さんは「軟らかくお年寄りでも食べやすく手作りの味を心がけています。「この前のおかずとっても美味しかったですよ」と声をかけてくれました。」と笑顔で答えてくれました。

